

2023
特別号

山本左近 NEWS

令和5年11月2日(火) 発行所: 愛知県衆議院比例区第一支部
〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 TEL. 0532-21-7008 FAX. 0532-21-7003

自民党

第49回衆議院選挙から二年 感謝のご挨拶と改めでの決意

山本左近の活動はこちら



H.P.



2021年12月に行われた第49回衆議院議員総選挙におきまして、自民党に対し皆様からの絶大なご支援を賜り、東海ブロック比例代表として初当選をさせて頂きました。大切な議席をお預かりし、日々奮闘するなかで、先の10月31日で丸2年を迎えることができました。これもひとえに、お支えいただきました皆様のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

光陰矢の如しという言葉もある通り、月日の流れは早いものです。特に“議員生活2年目”は、私にとって初となる経験が多く、努力と研鑽の毎日でした。2022年8月12日には、当選後275日にも関わらず、岸田総理より文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命。それ以後日々の歩みは急加速し、重職を任された責務と緊張感のなか、職務に全力で取り組んで参りました。私は政務官の職務を任命され、立

法と行政の職務に当たらせていただくことで、双方の関わりや違いを学ぶことができました。また国会の委員会においては質問者ではなく、答弁者の立場を務めさせて頂きました。貴重な経験を積みさせて頂きました。今後は社会課題に対して取り組むとともに、政務官の時にタスクフォースとしてとりまとめさせて頂いた課題、たとえば「アニメーションをはじめとする魅力的なコンテンツの世界的発信と価値の向上」や「サイエンス×アートによるイノベーションの推進」、「Spring 8」などの実現に向けても、立法の立場から強く推進していきたいと考えています。

そのほか、政務官として任務にあたらせていただくなかで、多くの皆様とご縁をいただいたという点も、私にとって大きな財産となりました。政治は一人の力では行うことができませぬし、一人で世の中を変えることはできません。異なる立場に身を置く一人一人が、自分に与えられた役割をまっとうすることで政治は実現するものですし、その過程においては互いの立場を理解し、尊重し合う協働の姿勢が必要になります。行政の領域で職務にあたる方々と肩を並べ、議論を交わすことができたのは、私にとって視野を大きく広げる機会となりましたし、新たな課題や

元F1ドライバー

衆議院議員

山本左近

問題点に気づく契機ともなりました。また2023年8月には、ウガンダの難民居住区における教育支援を視察、さらに8月下旬にはインドで開かれた主要20カ国・地域のG20文化大臣会合に出席し、日本を代表し、各国代表と文化政策の重要性などについて議論する機会も頂戴しました。G7やグローバルサウスといった多様な国々が集う中で、日本が世界で貢献できる活動の重要性を改めて感じる機会となりました。こうした経験を今後の政治活動でも役立て、広く国際的にも還元していきたいと考えています。

衆議院議員として3年目を迎えさせて頂きました。これまでの経験を糧に現地現場主義を心がけ、誰もが何歳であっても安心して幸せに暮らせる社会を目指し、一意専心、職務に全力をつくして参ります。これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

衆議院議員

山本左近

不屈の
三河武士



《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。41歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。前文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官。現在、国連世界食糧計画国会議員連盟事務局長、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟事務局長、カーボンニュートラルのための国産バイオ燃料・合成燃料を推進する議員連盟事務局次長などを務める。日本語、英語、スペインを話す。マルチリンガル。